

平成23年6月28日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

平成23年度 第1回 教育文化・環境清流合同部会

◆ 6月28日(火)、美しい多摩川フォーラムの平成23年 第1回 教育文化・環境清流合同部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：平成23年6月28日(火) 15時～16時半
- ・開催場所：立川グランドホテル 3F サンマルコ
- ・出席者：部会長、副部会長、運営委員、アドバイザー、会員等

◎ 教育文化・環境清流合同部会の概要

1. 開会

2. 部会長挨拶

3. 経過報告 ※はビデオ放映

- (1) 美しい多摩川100年プランの進捗状況【資料1】
- (2) 平成23年度事業計画・同予算【資料2】
- (3) 多摩川夢の桜街道・桜の札所巡り(4/8、4/15、4/16)【資料3】※
- (4) 平成23年度総会開催(5/21)※
- (5) 「美しい多摩川フォーラムの森(青梅)」の開設イベント(5/28)【資料4】※
- (6) 第39回調布市環境フェア出展(6/4)【資料5】
- (7) 第4回多摩川一斉水質調査実施(6/5)【資料6】※
- (8) 東急百貨店「ココエコチャリティー」実施(6/2～29)【資料7】
- (9) 総合教育文化モデル事業開催(6/9、13、16)【資料8】
- (10) 多摩川っ子(第4号)発刊(7月上旬)【資料9】
- (11) 狛江古代カップ第21回多摩川いかだレース参加(7/17)【資料10】
- (12) 第4回カヤック体験教室開催(7/23)【資料11】
- (13) 多摩川1万人の清掃大会参加(8/7)
- (14) 第3回炭焼き体験と水辺の交流会開催(8/22)【資料12】

4. 意見交換

- (1) 平成23年度事業計画の見直し等について

①食と地域の交流促進対策交付金の交流促進計画承認申請【資料13】

- ②東日本大震災復興支援事業～「東北・夢の桜街道プラン」【資料 14】
- ③「多摩川夢の桜街道」計画の見直し（計画の浸透策を含む）
- (2)「多摩川の歌」の普及について
- (3)「多摩川教育河川事業」について【資料 9、11、12】
- (4)その他
 - ①「多摩川カヌー川下り」の開催について【資料 15】
 - ②「多摩川レガッタ」実現に向けた情報提供について【資料 16】

5. 部会長総括・閉会

1. 開会（初参加者紹介および資料確認）

（事務局）

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成23年度第1回教育文化・環境清流合同部会を始めさせていただきます。本日はじめて部会にご出席される方をご紹介します。

（昭島市 環境部 環境課 水と緑の係 大沼 春之 様）

昭島市環境課から来ました大沼と言います。このような、そうそうたるメンバーの会議に呼ばれ、少し緊張しておりますが、しっかり勉強し、自分の職務に生かしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

（公益財団法人 東京都農林水産振興財団 花粉の少ない森づくり運動担当課長 松川 敦 様）

松川と申します。私ども財団では、昨年度からフォーラム様にご参加いただいております、森林の保全・整備事業の一環として進めている「企業の森」の協定締結や、当日の植樹イベント等の準備を行っています。また、法人会員としてもフォーラムに加入しておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

（才野 智裕 様）

初めて参加いたします、才野と申します。今から45年前、東急線で横浜から東京へ移動する際、車窓から多摩川を眺めたら、泡が飛んでいました。私は高知出身だったため、「ずいぶん汚れた川だな」と思ったものです。しかし多摩川はその後だんだんときれいになり、私自身も多摩川沿いに20年住みました。その住まいはガス橋南側のマンションだったのですが、上階から多摩川を見下ろすと、カヌーが行き交い、馬が走っていました。また、子どもをブタ公園で遊ばせたり、ザリガニを採ったり、多摩川には色々な思い出がありますので、よろしくお願いいたします。

(箱崎 作次様) ※業務の都合で遅れてご参加。

東村山第二中学校で社会科の教員をしております。多摩川フォーラムでは、昨年から三多摩青年合唱団の一員として「多摩川の歌」を歌わせていただいております。今日は、今年の12月に開催される多摩川子ども環境シンポジウムにおいて、うちの学校の合唱部の子どもたちに「多摩川の歌」を歌わせてもらえないかと思い、部会に参加しました。後ほどその話題になったところで、改めてお話させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

2. 部会長挨拶

(下重教育文化部会長)

今年も、早くも半年を過ぎようとしています。猛暑の中、お集まりいただき有り難うございます。活発な意見交換をし、より良い活動に繋げていければと思います。

実は私、昨日まで陸前高田市、南三陸町等、視察団に連なって被災地である三陸海岸を車で見て回ってきましたが、復興はまだままだでした。「行政がやることには待てられない」と言って、地元の様々なセクターの方が一所懸命動いていました。私は今まで、視察に行くだけでは迷惑ではないかと思い、ずっと躊躇していましたが、行って良かったと思っています。もし皆さんの中で少しでも機会やご縁があれば、ぜひ行ってください。1000年に1回の大災害を、360度の視点で、空気感や臭いを含めて体感なさってください。自分たちに何が出来るかを考える良い機会になります。

それでは、事務局より経過報告をお願いします。

3. 経過報告 (事務局)

はい、今年度の当フォーラムの活動につきましては、お手元の資料にて時系列でお示ししております。それでは、はじめに(3)番、(4)番、(5)番をビデオにまとめておりますので、後方のスクリーンをご覧ください。

(3) 多摩川夢の桜街道・桜の札所巡り (4/8、4/15、4/16)

(4) 平成23年度総会開催 (5/21)

(5) 「美しい多摩川フォーラムの森 (青梅)」の開設イベント (5/28)

— ビデオ放映 —

(5) 「美しい多摩川フォーラムの森 (青梅)」の開設イベント (5/28) 【資料4】※

開設イベントでお世話になった、東京都農林水産振興財団の松川様より補足説明をお願いいたします。

(松川様)

お手元にお配りしました、カラー刷り2枚の資料をご覧ください。1枚目表の資料は、私どものホームページにも掲載されている、先日の植樹イベントの実施報告になります。先ほどのビデオにもありました通り、当日は小雨が降っておりましたが、多くの方がご参加され、無事に除幕式と植樹を開催することができました。参加者の熱心な作業ぶりに、とても感心いたしました。

「企業の森」の制度や事業内容につきましては、2枚目にまとめてありますので、ご覧ください。2枚目裏面には、「企業の森」の実績が書かれており、「美しい多摩川フォーラムの森（青梅）」は第14号となります。今年度はさらに東京都交通局の森もオープンさせる予定ですので、平成23年度までで計15件になる予定です。「企業の森」の所在地は、青梅市を中心に、あきる野市、日の出等、西多摩地域の森林となります。「花粉の少ない森」を目指しながらも、水源の涵養（かんよう）やCO2固定化にも協力できるようになっておりますので、皆さまの中でも、企業・団体等 dengan こういった取り組みにご興味がありましたら、ご一報ください。改めてご説明に伺います。

(事務局)

有り難うございました。また、当日のイベントに参加されました、下重部会長にも一言お願いいたします。

(下重部会長)

私たちの暮らしは日々自然の恵みを受けて成り立っています。四季折々の花を愛でたり、緑を見て癒されたりしていますが、日々の暮らしは環境に負荷をかけることばかりで、自然に対して何の貢献もしていないことに思い知らされます。こういう機会に、一人でも多くの方に参加していただきたいと思います。今回は色々な事情で子どもたちに参加してもらうことが出来なかったのですが、次世代を担う子どもたちと一緒に活動を盛り上げていきたいなと思います。

(事務局)

いま、「子どもたちと一緒に」というお話がありましたが、まだ0.13haは植樹されずに残っているので、9月10日に子どもたちに植樹体験をさせたいと考えています。青梅市内のある中学校の校長先生が、こういったことにとても熱心で、「ぜひ生徒たちに体験させたい」ということから、20～25名の規模で、東京都農林水産振興財団さんにご協力をいただきながら、進めていきたいと思っています。

(6) 第39回調布市環境フェア出展 (6/4) 【資料5】

(事務局)

- ・ 【資料5】をご覧ください。美しい多摩川フォーラムでは、6月4日に開催された第39回調布市環境フェアに出展し、多摩川一斉水質調査や美しい多摩川クリーンキャンペーンなど、環境への取り組みを、調布市の皆さんに大いにPRしました。本日は、調布市環境部環境政策課主任の濱地直子様にお越しいただいていますので、一言お願いいたします。

(濱地様)

昨年に引き続き、美しい多摩川フォーラムさんには調布市環境フェアにご出展いただき、有り難うございました。当日は、約2,600人の市民に会場いただき、多摩川フォーラムさんのブースも大変賑わっていました。どうも有り難うございました。

(7) 第4回多摩川一斉水質調査実施 (6/5) 【資料6】

(事務局)

- ・ 【資料6】をご覧ください。フォーラムが直接担当した調査地点の結果を速報としてお届けするものです。今回は、新たに最下流の0キロポストまで調査地点を広げ、下流中心に前回比10ヵ所増やした結果、多摩川全流域で74地点となりました。詳細な調査結果レポートは、例年どおり11月に発刊する予定です。本件につきまして、環境清流部会副部会長の渡邊様に補足説明をお願いいたします。

(渡邊副部長)

私は、青梅・多摩川水辺のフォーラムと、私が以前勤めていた職業能力開発総合大学校の学生、先生、卒業生が協力して、74ヵ所で採水された水を、COD以外の方法で、電気伝導率、イオンクロマトによる塩化物イオン、硝酸態窒素、硫酸イオン、TOC（全有機炭素）を測定しました。データについては、機会があれば皆さんにお知らせしたいと思っています。昨年に比べて今回は、採水日の前々日に大量の雨が降ったため、きれいになって（濃度が薄くなって）います。

電気伝導率が高かった場所として、46：昭島くじら公園がありますが、この近くには多摩川上流水再生センター、八王子水再生センターと、下水処理場が2ヵ所あるので、再生センターが放流した水を採水したのかもしれませんが。73：味の素川崎工場取水口付近、74：大師橋下川崎側、75：0km地点 羽田側では、急激に電気伝導率が上がっているので、当然海水が含まれています。電気伝導率以外にも、塩化物イオン、硝酸イオン、硫酸イオンの値も相対的に同じような傾向を示しています。硫酸イオンが高かったのは、54：つるつる温泉先ですが、今後理由を調べてみたいと思っています。

このように、採水場所によって測定値が変わってしまうため、個人的には、GPS機能のついたカメラで測定地を撮影し、緯度経度もしっかり管理できれば、よりブレの少ない数値を把握できるのではないかと考えています。

(事務局)

フォーラムでは毎回COD値を測定しておりますが、今回、これまできれいだった上流域においても、数値の高い（汚れている）場所がありました。この件についてフォーラム事務局に寄せられた意見としては、節電対応で、青梅市御岳にある多摩川第三発電所（水力発電所）が小河内ダムの底にたまった濁り水を利用しているのではないかとのことです。実際、上流域の調査結果レポートの備考欄を見ても、「川が濁っている」というコメントが多数記載されていました。これについては、事務局でも分析を進めていきたいと思っておりますが、渡邊先生の見解がございましたらお願いします。

(渡邊副部長)

CODに相当する全有機炭素を測定したところ、やはり3：留浦（奥多摩湖）のCODやTOCが高かったため、有機物があるのは間違いありません。現場を見ておりませんので、詳しいところは分かりません。

(8) 東急百貨店「ココエコチャリティー」実施 (6/2～29) 【資料7】

(事務局)

- ・ 【資料7】をご覧ください。ご覧のとおり、東急百貨店ホームページのトップページに紹介されており、今年は6月2日（木）～29日（水）まで、東急百貨店（渋谷本店など8店舗）において、ココからはじめる身近なエコ「ココエコ・チャリティー」イベントが開催され、東急百貨店オリジナル「渋谷のしっぽ」携帯ストラップ（渋谷名物のハチ公をモチーフにしたもの）が販売されています。色は、黒とピンクの二種類で、価格は200円です。本日、サンプルをお持ちしましたので、どうぞご覧くださいませ。
- ・ これは、昨年につき、東急百貨店のCSRの一環として企画されたもので、環境活動に積極的に取り組んでいる団体として「美しい多摩川フォーラム」に携帯ストラップの売上金の一部を寄付し、多摩川流域周辺の環境保全活動に貢献しようというものです。美しい多摩川フォーラムでは、いただいた寄付金を、「多摩川一斉水質調査」などの多摩川環境保全活動に役立てていきます。なお、携帯ストラップは明日までの期間限定販売ですので、お買い求めはお早めに！

(9) 総合教育文化モデル事業開催 (6/9、13、16)【資料8】

(事務局)

- ・ 【資料8】をご覧ください。昨年6月に、あきる野市立増戸中学校への環境講座をフォーラム事務局が講師として担当したことがきっかけとなり、今年度は、総合教育文化モデル事業として6月に5時限を予定している講座の内、3講座をフォーラムで担当しました。6月9日には、フォーラム事務局が多摩川に関するクイズを始め、地理や歴史、環境への取り組みについて、映像を使って説明しました。13日には、山崎・教育文化部会副会長に、多摩川に生息している魚や、多摩川の環境についてお話をいただきました。そして、16日には、フォーラムの会員で連携パートナーでもあります、秋川漁業協同組合の宮崎様に秋川で実施している魚を育てる環境づくり・川づくりについてお話いただきました。そして数日前には、増戸中学校80数名の生徒から、事務局に感想文が届きました。それを読みますと、聞いていないようで聞いていたり、疑問を持ってもっと深く知りたいといった声も寄せられました。これについては、事務局で回答し、対応していきたいと思っています。

ここまでで何かご質問、ご感想があれば、挙手をお願いします。

ここからは、当面の予定につきまして、簡単にご紹介させていただきます。

(10) 多摩川っ子 (第4号) 発刊 (7月上旬)【資料9】

【資料9】をご覧ください。これは、昨年発行した「多摩川っ子」第3号になりますが、今年も7月上旬の発行を目指して現在編集中です。

(11) 狛江古代カップ第21回多摩川いかだレース参加 (7/17)【資料10】

【資料10】をご覧ください。今年も「美しい多摩川フォーラム号」として出艇します。いかだには、元オリンピックスキー複合選手でスポーツキャスターの荻原次晴さん、狛江市職員、フォーラム事務局が乗り込み、出艇します。皆さん、ぜひ、会場に足を運んで、応援をよろしく願いいたします。

(12) 第4回カヤック体験教室開催 (7/23)【資料11】

【資料11】をご覧ください。今年も青梅市、青梅市カヌー協会共催で開催します。7月1日の青梅市広報およびフォーラムホームページに募集の記事を掲載する予定です。

(13) 多摩川1万人の清掃大会参加 (8/7)

(14) 第3回炭焼き体験と水辺の交流会を開催 (8/22) 【資料12】

【資料12】をご覧ください。今年は青梅市との共催で開催します。8月1日の青梅市広報およびフォーラムのホームページに募集の記事を掲載する予定です。なお、このイベントには、ダニエル・カール副会長もボランティアで参加されます。経過報告は以上です。

(下重部会長)

スピードを上げて、ビデオを含めた経過報告を皆さんにお示ししましたが、何かご質問などございますか。

(藤井様)

私は常日頃、多摩地区の活性化を考えています。今後、多摩地区を活性化させていくためには、交通網を整備する必要があると思います。東京都における大きな欠点は、交通網が東西にしかないことです。南北にはありません。そのため、都心から多摩地区に行けても、多摩地区内を自由に行き来する交通手段がないため、活性化が図れません。私なりに当たってみたところ、西武では、「奥多摩ハイキングフリー切符」を発行しているとのことでした。これは年間を通じて利用でき、2日間有効で、大人1,320円です。ただし条件があり、池袋→(西武線)→拝島→(JR青梅線)→奥多摩あるいは池袋→(西武線)→拝島→(JR五日市線)→五日市しかルートがなく、池袋→拝島間は直行でなければなりません(途中下車不可)。また、京王線に聞いたところ、高尾山に関連するものだけが1本あるとのことでした。東西のルートはあるので、お客さんが南北縦横無尽に移動できるようにするには、バスのルートも必要です。例えば、2日間1,320円で多摩地区の全ての交通機関を利用可能にすれば、多摩地区に宿泊することになりますし、大変な威力を発揮すると思います。フォーラムが提唱している、桜の札所・八十八カ所巡りにも十分利用可能だと思います。

(下重部会長)

いつも貴重な意見をいただき、有り難うございます。すぐに実現することは難しくても、フォーラムが力をつけていくに従い、色々な人が集まってきますので、人脈を繋げていつか実現できるように頑張りましょう。

では、意見交換に進みます。

4. 意見交換 (部会長)

(下重部会長)

はじめに事務局の方から説明してください。

(1) 平成23年度事業計画の見直し等について

①食と地域の交流促進対策交付金の交流促進計画承認申請【資料13】

(事務局)

- ・ 【資料13】をご覧ください。3月上旬には、平野副会長より農林水産省の「平成23年度・食と地域の交流促進対策交付金」募集に関する情報が寄せられました。急遽の案件のため、細野会長、平野副会長と相談し、3月10日に応募し、5月9日に採択通知を受け、具体的な事業計画書を今月8日に提出したところです。順調に進めば、7月末までに、交付決定が見込まれます。具体的には、東京都奥多摩の「自然」「食」「文化」を活かした多摩川上・中・下流域間の観光交流を目指したもので、観光と連携した都市農山村の交流推進（グリーン・ツーリズム）を実現していくという事業です。事業の実施体制は、美しい多摩川フォーラムが運営責任者となっていますが、事務局のマンパワーに限界があるので、フォーラムの会員でもありません、財団法人都市農山漁村交流活性化機構（通称：まちむら交流機構）と連携して事業を展開していく予定です。
- ・ 「食」「自然」「文化」とありますが、「食」では、奥多摩郷土弁当、モダン・スイーツの企画・開発、「文化」では、平野副会長にサポートいただき、地域文化資源の掘起し・実演をしていく予定です。2年間の総事業費は、平成23年度が200万円程度、平成24年度が250万円程度を見込んでいます。
- ・ なお、8月以降、事業実施のため、実行委員会を立ち上げ、小澤運営委員様には、実行委員長をお願いしたいと存じます。

(下重部会長)

皆さん、ご質問やご意見がございましたら、お願いします。事務局も忙しい中、新しい事業を立ち上げるので、手伝える方、良いアイデアがある方は事務局にお寄せください。では、次に進めます。事務局の方から説明してください。

②東日本大震災復興支援事業～「東北・夢の桜街道プラン」【資料14】

(事務局)

- ・ 【資料14】をご覧ください。3月11日に東日本大震災が発生し、東北は大変な事態に陥っていますが、私ども美しい多摩川フォーラムも、地域づくりの団体として、何らかの支援ができないかと、内外から意見が寄せられています。例えば、チャリティーも考えられますが、単にお金を集めて寄付をするというだけでは、本来の趣旨にかなっていないのではないかと思います。そもそも我々が推進している地域づくりの基本フレームは、東北においても何らか役に立つのではないかと、なんとか復興支援のために働きかけたいと思い、先般開催されたフォーラムの総会で簡単にお話をしたところ、好評だったことから、7月に開催予定の臨時運営委員会でこのプ

ランの概要および予算計画を出すことで一任を取り付けました。今日は、それに先立ち、せっかくの機会ですので、皆さんにも可能な限りご披露・ご説明をし、ご意見をいただければと思っています。

- 資料に沿って簡単にご説明しますと、「多摩川夢の桜街道プラン」が東北復興に役立つのではないかと問題認識のもと、「東北・夢の桜街道プラン」構想をまとめました。日本人にとって、桜は最も好感度が高い花と言えますし、特に東北地方においては、桜の名所が多数存在しています。ニュース映像を見ておりましたが、「この厳しい冬を乗り越えた桜の開花を見て、生命が躍動する春を感じた。たとえ災害時であっても、桜は開花し、自分たちの心が癒された」というインタビューが紹介され、桜が人の心を癒す力を持っていることを改めて感じました。
- 「多摩川夢の桜街道プラン」の基本コンセプトは、「願い事を携えてたずねる桜の札所巡り」です。このコンセプトを「東北・夢の桜街道プラン」にも適用しようと考えています。現在の東北は、災害のみならず、風評被害もあり、観光産業は大きなダメージを受けています。私どもとしては、「多くの犠牲者の鎮魂と、被災地の復興に祈りを捧げて巡る東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り」という観光ツアー商品を開発できればと思っています。しかし、私どもの頭で考えても、実際にこれを商品化するためには、鉄道会社、バス会社、旅行会社等、専門の方のご協力なしには取り運びできません。幸い、JRさん、はとバスさん、JTBさんに賛同していただきましたので、これから関係者でワークショップを立ち上げ、進めていきたいと思っています。これは、来年春のみの単年度の話ではなく、継続的にやっていきたいと思っています。
- では具体的にどう進めていくのかと申しますと、商品については専門の方にお任せするとして、これはたまたまですが、山形に「美しい山形・最上川フォーラム」という地域づくりの団体がございます。これは、私ども多摩川フォーラムの兄貴分に相当し、すでに「最上川夢の桜街道プラン」を推進しています。東北の桜に深い想いのある団体で、会員数は5,000会員にのぼり、国も県も、全市町村も入っている大きな地域づくり組織です。5月の連休中に、この企画について最上川フォーラムに打診をしたところ、「ぜひ一緒にやりたい」ということでした。実は昨年10月に、大田区で開催された「おおた商い観光展」で、当フォーラムと最上川フォーラムがコラボで「夢の桜街道」の写真展示を行うとともに、当フォーラムのダニエル・カール副会長にご講演をいただき、第1回目の交流事業が成功しました。今回、第2回目を企画していた矢先だったこともあり、この企画案はスムーズに流れて行きました。
- つい先日の6月10日に、「東日本復興支援会議」が山形県庁で開催され、山形県知事以下が出席されたそうですが、そこでこの企画案の骨子をご説明したところ、非常に好感を持っていただけたとのこと。特に副知事からは、「この案が民間

から出てきたのは非常に喜ばしい。これが1回だけでなく、継続的にやってもらえれば、復興の過程が目に見えて分かり、東北が忘れ去られないようになる。そういう意味でもこのプランは良い」とのご感想をいただいたとのこと。

- ・ 私どもとしては、この支援事業が全国に広がれば良いと思っており、また、当フォーラムの事務局が青梅信用金庫にありますので、出来れば全国の信用金庫にお声をかけ、連携の輪が広がれば良いなと思っています。この件については、7月28日に予定している臨時運営委員会の前までに調整をしていきたいと思っています。
- ・ 肝心の八十八ヵ所ですが、資料にありますように、青森県12先、秋田県12先、岩手県14先、山形県17先、宮城県10先、福島県23先で、合計88先がノミネートされました。中には、札所に指定したくても、放射能の問題等で足を踏み込むことができない場所もあり、やむを得ず、現段階では除いています。いずれにしても、これをタタキ台にし、八十八ヵ所を選定していきたいと思っております。
- ・ ここで、6月16日に開催された、第1回地域経済活性化部会で、ご出席いただいたJRさん、はとバスさん、JTBさん、大田観光協会さんの発言内容をご紹介します。

(JTB 営業2課 志村様)

先日、事務局からこのお話を伺い、弊社としてもぜひ、東北の復興を含め、賛同したい、ご協力したいとお話をさせていただきました。私のほうからも、事務局側にいくつかが提案をさせていただいております。今後、課題や懸念事項をクリアしながら、ぜひ来年4月の実施に向けて積極的に頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

(JR東日本 販売促進課副課長 小関様)

こちらのプランは非常に面白いプランでございます。私どもJRとしましては、東日本の地域に根ざした会社として、特に自治体とかなり密接な関係を持っています。商品に関しては仙台支社でやっていますが、それ以外にも、1回で終わらないように、これから続けられるように、自治体を巻き込んで大きな形にできればと思います。色々な形で、こちらからも提案させていただいたり、商品にしたりということも考えていきたいと思っております。

(はとバス 企画課長 江沢様)

事務局による冒頭のビデオにもありましたとおり、今年の4月16日に、多摩川フォーラムさんの企画に参画させていただき、非常に人気のツアーになりました。募集してから約3日で満席になり、多摩川フォーラムさんのネーミングや企画内容が非常に良かったのではないかと思います。

「東北・夢の桜街道プラン」につきまして、例年、私どもも東北地区の桜バスツアーをやっておりますが、新たにフォーラムさんと連携することによって、展開が大きく図れるのではないかと考えておりますので、ぜひ参画をさせていただき、商品化したいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

(大田観光協会 事務局長 栗原様)

被災地復興支援は、皆がやりたいと思っておりますが、何をやって良いのか分からない中で、この「東北・夢の桜街道プラン」は本当に素晴らしいと思います。各地域どこでもそうだと思いますが、桜の季節はウォーク・イベントやお祭りが商店街などで開催されますが、来年の春はどうしたら良いか、継続的に何をすれば良いのか、みんな悩んでいるのです。そこにこういった、東北地方までまとめたプランを作っただけなのは、素晴らしいことだと思っております。賛同したいと思っておりますし、微々たる力かもしれませんが、ぜひ参加させていただき、ご協力していきたいと思っております。具体的には、私どもの3月の桜のイベントに、東北の観光をPRする打ってつけの企画だと思います。これからフォーラム事務局とお話して、連携できることを考えたいと思っております。本当に素晴らしい企画だと思います。

(事務局)

こういった発言をいただいた後、栗原様には東北復興プラン実行委員のメンバーにも手を挙げていただき、一員となっていただきました。長くなりましたが、事務局からの説明は以上です。

(下重部会長)

長い説明でしたが、具体的にどういう風になるのかが、はっきり見えていません。桜が好きな日本人ですから、きっと人が集まると思いますが、ただの物見遊山や興味本位で行くのではなく、ボランティアな心を活動に繋げるような工夫があったら良いなど個人的に思いますが、他にご意見のある方はどうぞ。

(箱崎様)

私もこの土日に三陸に行ってきました。これは、朝日新聞の記事に載っていた、「三陸鉄道が苦肉の被災地ガイド・会社存続を掛け企画」を読み、この企画で合唱メンバー5人と行きました。陸前高田、大船渡、釜石、大槌町、山田町、宮古、田老町と見て回りましたが、惨憺たる状況でした。それをビデオに撮影し、月曜朝に3年生約250名に20分程度上映したところ、子どもたちは真剣に見ていました。

「いま何が出来るか」を考えると、ボランティアもありますが、「東北に行くこと」が地域経済の活性化に繋がりますので、「東北・夢の桜街道プラン」はとても素晴ら

しい企画だと思えます。もう少し交通網や宿泊設備が整備されたら、私は学校関係者として、移動教室や校外学習、修学旅行先として、子どもたちに震災の現場を見せる必要があると思っています。そうすれば、自分が何をすべきか、どういうふうに日本の美しい自然を守れば良いのか等、彼らなりに考える力を育てていくことが出来ると思います。今の企画は東北全般を取り上げていますが、震災被害が大きいのは三陸です。そのエリアを美しい多摩川フォーラムとしてどういう風に支援していくことができるか、一緒に考えていければ嬉しいです。

(奥山アドバイザー)

私の母校である北里大学が、岩手県大船渡市三陸町越喜来（おきらい）にあり、震災から3週間後に車で現地に行ってきました。震災から数カ月経ち、皆さんが「何が出来るか」という話をよくされますが、絶対に誤解のないようお願いしたいことがひとつあります。ビジネスとして何かを応援することが復興支援になるという考え方です。また、被災現場に仕事として行ってらっしゃる方もいます。私は羽村在住ですが、羽村市職員が仕事として出張で現地に行って何かをしてきました。私に言わせれば、これは支援ではありません。仕事です。ボランティア精神を持って自腹でも行く、何かをする、真剣に考える部分を前向きに強調していかないと、復興支援をやった気になって終わってしまう不安があります。フォーラムでも、3月末にボサノヴァ・チャリティーコンサートが中止になり、事務局から「チケット代金を返金します」と連絡を受けた際、「返金はいらないから義援金に使ってください」と言いました。ではその義援金についてどうなったのか、事務局からまだ話を聞いていません。私の知り合いでも被災した方が沢山いますが、義援金はまだ1円ももらっていないそうです。現地を支援するのは構いませんが、現地の人たちと交流を持ち、本当に困っていることは何なのかを追求していかないと、「支援した気になるだけ」のような気がします。

(下重部会長)

箱崎さんも奥山さんも、現地に行くどうしても強い想いが溢れてきます。現地の人たちの話を聞くと、「大きい組織は当てにならない」ことが良く分かります。そんなことはないと思いますが、JRさんやはとバスさんがこの企画で稼いだお金を全て東京へ持ってくるのではなく、ひと工夫を入れてほしいという声だと思えますので、ぜひご検討ください。被災者にとってどんなメリットがあるのか、被災者が取り残されないように、事務局は心してよろしく申し上げます。

(事務局)

義援金についてご説明させていただきます。奥山さんからのものを初め、各イベントで集まった義援金額は、48,700円(6/28現在)になります。9月末まで義

援金の受付を行い、日本赤十字社へ寄付をしたいと思っています。その時点で会員の皆さんに金額を公表させていただく予定です。

(奥山アドバイザー)

日本赤十字社ではなく、桜に繋がりのある団体等、ピンスポットで寄付をしたらどうですか。日本赤十字社のお金は、被災者に渡っていません。阪神・淡路大震災の時もそうでしたが、国から補助金はもらっても、赤十字社から義援金は受け取っていないという被災者が沢山いました。

(事務局)

マスコミでも同じようなことが報道されています。日本赤十字社でも、いくら集まってどのように支払ったのかを公表していないそうです。フォーラムも、こういったケースは初めてなので、皆さまのご意見を参考に、必要であれば義援金の取り扱いについて見直していく必要があると思います。貴重なご意見有り難うございました。

(下重部会長)

善良な国民の大半は、日本赤十字社に義援金を預けますが、日本赤十字社では義援金の一部が事務管理費や人件費に使われてしまいます。出来るだけ地元で直接パイプのある、信用のあるNPOやNGO、あるいは信金ネットワークを利用するなど、善意が有効に使われる工夫があったほうが良いと私も思います。

では次に進めてください。

②「多摩川夢の桜街道」計画の見直し（計画の浸透策を含む）

(事務局)

事務局から2点ご報告させていただきます。1点目は、過年度より要望の多かった「多摩川夢の桜街道～桜の札所マップ」の製作について、大多摩観光連盟さんが、現在、東京観光財団に補助金の100万円を申請中とのことで、うまく行けば7月末にはOKが出るとのことです。そうすると、フォーラムのプロパー資金100万円に大多摩観光連盟さんが申請している100万円の助成金が加わり、総額200万円が桜の札所マップの予算となります。

二点目は、ボサノヴァ・チャリティー・コンサートの見直しについてです。ボサノヴァ・チャリティー・コンサートは、3月26日（土）に、羽村市ゆとろぎにて、ボサノヴァ界ではトップ・ミュージシャンである小野リサさんがコンサートを行う予定でしたが、地震の影響で、ゆとろぎが3月末まで閉館となりましたので、コンサートも中止を余儀なくされました。そもそもボサノヴァ・チャリティー・コンサートの“チャリティー”とは、桜の植樹を主に考えていたのですが、いま“チャリティー”と言

うと、「東日本大震災復興支援」というイメージに繋がってしまいますので、これを継続していくことは事実上無理であると考え、先方ともご相談の上、この件は白紙に戻すことにしました。一方で、内外から「東日本大震災復興支援対応」の話も出てきたので、ボサノヴァ・チャリティー・コンサート関係の予算は、主として「東北・夢の桜街道プラン」に充当することを事務局では考えています。東北案件以外の事業については、現在、過年度に要望の強かったものを中心に考えておりますが、具体的には臨時運営委員会で議論していただきたいと考えております。

結論といたしまして、ボサノヴァ・チャリティー・コンサートは、残念ながら、今回の地震を契機に無くなったということです。しかし、大掛かりなチャリティー・コンサートではなく、通常のコンサートにつきましては、折があれば開催したいと思っております。

(下重部会長)

この件でご意見、ご質問はありますか？ないようでしたら、事業計画・予算の修正については、7月開催の臨時運営委員会に一任ということによろしいでしょうか。有り難うございました。

次に進めます。事務局の方から説明してください。

(2) 「多摩川の歌」の普及について

(事務局)

昨年度末の本年3月には、計画どおり、「多摩川の歌」CDが完成し、プレス発表を行う予定でしたが、震災の影響で、発表を先送りし、5月の総会で会員の皆様にご報告させていただきました。今後、多摩川流域の小・中学校に配布し、「多摩川の歌」が合唱コンクールのテーマ曲に採用され、広く普及していくことを目指して、現在事務局では、多摩川小・中学校のリストアップを進めております。また、DVDにつきましても、フォーラム会員でもある多摩ケーブルテレビ様と連携して、年内に制作するため、準備を始めたところです。なお、小野リサさんが、このDVDのプロジェクトに参加され、ボサノヴァ・ヴァージョンでも「多摩川の歌」をPRしていただく予定です。

(下重部会長)

箱崎さんは熱心に合唱を推進されているので、何かアドバイス等がございましたら、事務局にアイデアをお寄せください。

(3) 多摩川教育河川事業について【資料9、11、12】

(事務局)

こちらについては先ほどの説明と重複しますが、7月中に「多摩川っ子」第4号を発刊し、多摩川流域の子どもたちに活動をPRし、7月23日に「第4回子どもカヤック体験教室」、8月22日に「第3回炭焼き体験と水辺の交流会」を開催し、12月には「第4回多摩川子ども環境シンポジウム」を開催して、子どもたちに活動内容の発表をしてもらう予定です。多摩川教育河川事業とは、これら4つをひとつのパッケージとしています。

(4) その他

①「多摩川カヌー川下り」の開催について【資料15】

(事務局)

【資料15】をご覧ください。16日の地域経済活性化部会では、当フォーラム・アドバイザーで大田観光協会事務局長の栗原様よりご提案がありましたので、ご紹介いたします。

「10月1日(土)に、青梅市のカヌー協会と大田区のカヌー協会の共催で、「多摩川カヌー川下り」イベントを計画しております。2年後の10月に、スポーツ東京2013(東京国体)が多摩地区を中心に開催される予定で、カヌー会場として、青梅市と大田区が選ばれました。カヌー競技は2種類あり、青梅市で開催されるのはスラロームとワイルド・ウォーター競技で、大田区で開催されるのはスプリント(500m)競技です。この2会場に共通するフィールド「多摩川」で「カヌー川下り」を実施し、東京国体および競技のPRおよび青梅市・大田区の交流を図りたいと思っています。

企画当初は、上流の青梅市から下流の大田区まで一気に下ろうとご提案しましたが、それは先の夢にして、まずは東京都が4年前から開催している「多摩川ウォーキングフェスタ」(今年は10月1日(土)に開催、羽村→大田区ガス橋までの50キロをウォーキング)の開催日に合わせ、羽村から大田区ガス橋までの50キロをカヌーでツーリングすることとし、青梅市カヌー協会と大田区カヌー協会がカヌーのベテラン者に声をかけ、トライアル的に実施しようと企画しています。青梅から大田区までは65キロあり、その間に堰が5つあるので、堰のところだけは、カヌーを担いで下る必要があるかなとは思いますが、将来的には、「青梅マラソン」の次に「青梅カヌーマラソン」が有名になればと、夢を持っています。

まだまだラフな企画ではありますが、美しい多摩川フォーラムには後援をお願いしたいと思っています。」

②「多摩川レガッタ」拡充に向けた情報提供について【資料16】

(事務局)

【資料16】をご覧ください。こちらについては、藤井様からご説明をお願いします。

(藤井様)

大田区では、3年前に、「羽田空港跡地利用OTA基本プラン(素案)」への意見公募があり、大田区民である私たちは、レガッタ等を実施するために、“栈橋を作ってほしい”という提案書を提出しましたが、東日本大震災を契機に、海上交通が見直され、今年の7月に、日本空港ビルディングが羽田空港に大規模な船着き場を建設することになりました。平常時は観光ルートとして使用され、災害時には避難用に利用される予定です。東京湾近辺の各自治体でも、防災上の観点から、栈橋を作る計画が出ています。大田区では、多摩川支流・海老取川の天空橋に栈橋建設を計画しています。我々がスポーツ振興のために提案した栈橋建設が、こういった形で実現することになりました。

(下重部会長)

情報提供、有り難うございました。

5. 部会長総括・閉会(部会長)

(下重部会長)

事務局の報告やビデオが長く、せっかくお集まりいただいた方に一言も発言してもらえないのはとても残念です。今後、事務局は報告をコンパクトにする工夫をしたいと思います。個々にご意見がある場合は、事務局にお寄せください。

今日は福田環境清流部会長がお休みですので、渡邊環境清流副部会長に閉会の挨拶をお願いいたします。

(渡邊副部会長)

今日は、平成23年度・第1回教育文化・環境清流合同部会でしたが、大変充実した経過報告がありました。また、意見交換として、事務局から大変夢のあるお話がありました。貴重なご意見もいただきましたので、今後の活動に生かしていきたいと思えます。長時間に渡り、有り難うございました。

以上